



# スプレーギク新品種「スプレー愛知夏3号」を開発

— 新品種でシェア拡大を目指します —

## 開発の背景・ニーズ

愛知県のスプレーギク生産量は、全国1位を誇っています。

近年、夏季が高温になり、暑さに強いとされる夏秋系品種でも開花の遅れや、芽や葉が縮れ枯れる芽焼け、葉焼けなどの障害の発生が増加しています。そこで、高温でも開花の遅れや障害が少なく、花の形も美しい夏秋系白色品種を目標に品種開発に取り組みました。

## 成果の内容

「スプレー愛知夏3号」は、白色でシングル咲きの夏秋系スプレーギク品種です。この品種の特徴は、①耐暑性に優れ、開花の遅れや生育障害が少なく、7-9月の高温期に品質の高い切花を安定して出荷できる、②花弁の色が純白で、これまでの夏秋系白花品種にない濃い緑の中心部とのコントラストが鮮明、③開花が進んでも中心部の緑色が黄色く変化するスピードが遅くフレッシュな外観を長く保つ、などです。

これらの特徴から、冠婚葬祭の業務需要だけでなく、花束やフラワーアレンジメントなど幅広く利用できる品種です。



スプレー愛知夏3号



「スプレー愛知夏3号」(左)は、これまでの主力品種(右)と比較して、開花が進んでも花の中心の緑色が黄色く変化するスピードが遅く、フレッシュな外観を長く保ちます。

採花1週間後の花

## 愛知県農業への貢献

これまでに育成した「スプレー愛知夏1号」(黄)、「スプレー愛知夏2号」(ピンク)に続き「スプレー愛知夏3号」(白)の開発により、主要花色3色がそろいました。この3品種は、夏季高温期に安定した生産が可能であり、産地のブランド力向上に寄与します。

「スプレー愛知夏3号」は、2021年7月から本格的に生産を開始しました。2025年度に100万本の出荷を目指します。

(2021年3月品種登録出願)